

## 第6回宮代町公共施設マネジメント会議議事録

### 1 開催日時

令和4年3月9日（水） 午後1時00分～午後4時30分

### 2 開催場所

新しい村 村の集会所

### 3 出席者

佐々木誠委員長、難波悠副委員長、佐藤恵祐委員、力石琢磨委員

（事務局）企画財政課

栗原課長、伊東副課長、小川主幹、大越主査

### 4 次第

- 1 開会
- 2 第2期公共施設マネジメント計画素案について
- 3 その他

### 5 議事(要旨)

#### 第2期公共施設マネジメント計画素案について

第2期公共施設マネジメント計画素案について、以下のような意見交換があった。

【 前回会議及び各委員からの訂正・追加事項を基に修正した素案についての確認 】

佐々木委員長 P29のコラム「モビリティとネットワーク」について、「ネットワーク」という表現が少し分かりづらいか。「ICT」という言葉で補足はされているが。

難波委員 前回の話ではインターネットを使うということだったと思う。

事務局 地域をつなげていくのにインターネットなどのデジタルを活用するということだった。

難波委員 「モビリティとICT」とするか。「ネット」とした方が一般的には分かりやすいか。

力石委員 「ICT」というよりも「デジタル技術」でよいと思う。

佐々木委員長 本文の「ネットワーク」も変えるべきか。

力石委員 本文はこのままで大丈夫だと思うが、コラムは分断している印象を受ける。

難波委員 コラムに「ネットワークにより相互の交流を促進する」とあるが、「サービスの補完」にも使えることを追記してもよいと思う。図書館の例など。

- 事務局 本文はそのまま、コラムのタイトルを「モビリティとデジタル技術」に変更する。また、コラムの ICT を活用したネットワークの効果として「サービスの補完」を追記する。
- 佐々木委員長 P31 の中心施設への機能移転における 3 つの効果の内容はよいと思うが、(ア)(イ)(ウ)の順番が気になる。まず、(イ)の利便性向上があって、(ア)のコミュニティの醸成の促進につながっていくと思う。
- 事務局 (イ)、(ア)、(ウ)に順番を入れ替える。
- 難波委員 地域の中心施設への機能移転の図の項目に「生きがい」など、何かの目的ではないやわらかい表現を入れるのもよい。
- 事務局 図の「クエスチョンマーク」のところに入れてよいか。入れるとしたらどのような表現にするか。
- 佐々木委員長 既に掲げられている機能は、目的があるものになっているので、「目的がなくても行ける居場所」や「サポート機能」とするのはどうか。
- 事務局 この図はタイトルにもあるように個別更新施設の基本的な考え方となるので、それに沿ったものであればよいと思う。
- 難波委員 この円の外側にいろいろな施設があり、それらの機能を全て含めて矢印で集約していくようなイメージがよい。
- 佐々木委員長 そうすると P29 の図のようになる。
- 事務局 P29 は地域の中心施設の配置の話で、P31 は個別更新施設の機能を寄せていく話になり、少し限定的にはなると思う。建物ではなく機能という点が異なる。
- 佐藤委員 P30 の個別更新施設に列挙されている施設の機能を集めていくというイメージになればよい。
- 難波委員 それであれば P31 の図の機能は四角で囲んだ方がよい。そこにそれ以外のものを加えていく。
- 佐々木委員長 そうするとハコモノに機能を入れる感じがして、第 1 期のイメージに戻ってしまうかもしれない。最終的なイメージをハコモノにするのか、P29 の図のようにエリアにするのかによる。
- 事務局 個別更新施設の機能を地域の中心施設に寄せていくということを表現したい。

- 佐々木委員長 寄せていくのであれば1つのハコモノの中に入れなくてもよい。図の中心に「地域の中心施設」と書かれているが、家型や箱型の絵にしてその近くに機能が集まるようにしてはどうか。
- 難波委員 家の絵を入れてしまうとそこにまとめていくのかとってしまう人もいる。
- 佐々木委員長 そうすると「地域の中心施設」という見出しも変えた方がよい。図は、エリアの点線があって外から内にいろいろな機能が入っていくような。
- 難波委員 周りに図書館などの施設があって、その機能だけが矢印で中心部に移っていくような図が書けるとよい。中心施設と言われるとひとつだけと思う人がいるかもしれない。
- 佐藤委員 この計画全般で「地域の中心施設」という言葉が使われているので、変更するのであれば留意したい。
- 佐々木委員長 「施設」と「エリア」という言葉を意識して使い分けないといけない。
- 事務局 P24の図を活かしていくことでよいか。
- 佐々木委員長 「地域の中心施設」をどのように表していくか。「地域のハブ」としてよいか。
- 佐藤委員 ハブという点ではP24、P37の図が分かりやすい。イメージはできる。
- 佐々木委員長 そうするとP31の図は「地域の中心エリア」とするのがよい。
- 難波委員 P24では「地域コミュニティに必要な機能」となっていて、「地域」、「コミュニティ」、「エリア」、「ハブ」といったいろいろな用語が出てくると分かりづらくなる。
- 佐々木委員長 円をつなぐのではなく、バラバラなものをエリアに寄せていくとしてはどうか。一度、全ての図を取り出して整合性がとれているか確認するとよい。
- 事務局 同じような図が何度も出てくるのでなくしてしまうか。
- 佐々木委員長 ここでは機能の列記は残しておいて、それがエリアに寄っていくというのを表現したい。機能についてはP31、エリアを拡大したのがP24、P37と分かるように。①の見出しも地域の中心施設ではなく、地域の〇〇エリアとしたい。リノベーションのまちづくりでは「スモールエリア」で徒歩圏という表現をする。「中心エリア」は言い過ぎか。
- 難波委員 「中心エリア」と言うと、東武動物公園あたりをイメージしてしまう。
- 佐藤委員 「地域のコミュニティエリア」はどうか。

- 佐々木委員長 分かりやすいが、「コミュニティエリア」と言うと既存の町内会自治会との関係性がどうなのか。
- 難波委員 「地域のコミュニティを支えるエリア」はどうか。
- 力石委員 「身近なエリア」など抽象的でもよいのでは。
- 佐々木委員長 地方創生では「特定のエリア」、「固有のエリア」、「単位エリア」などがある。
- 事務局 学術的な表現よりも一般向けの分かりやすい表現がよい。
- 佐藤委員 P29 のように3つのエリアに分かれていれば、「コミュニティエリア」で伝わると思う。
- 佐々木委員長 現時点では「コミュニティエリア」として、他に思いついたら教えてほしい。  
続いて、P32 の脚注について、今回はコラムでという話があった。図解しながら書けるとよいが。
- 事務局 ここが趣旨ではなかったのでバランスを考えて脚注とした。
- 佐々木委員長 公共施設マネジメントを語るうえで必要な用語となる。
- 事務局 引用になると思うが、四角で囲ってコラムのように記載する。
- 難波委員 できるだけ子供にも分かるようにやわらかめに書けるとよい。
- 事務局 中学生でも分かるくらいの内容で1ページくらいにまとめる。
- 難波委員 P34 からの個別更新施設における今後10年間の具体的な取組について、はじめに小中学校、次に公民館の説明があって、それらを地域の中心施設としていろいろな機能を集約していくと書かれているが、その後のP37の図では地域の中心施設の周りに様々な施設や場所が波紋状に広がっているので少し混乱する。
- 佐々木委員長 P7にある第1期の地域の中心施設のイメージを引きずっているところはある。ハコモノのイメージが先行している。今回はエリア的なイメージを押し出したほうがよいのではないか。P34の図をなくしてしまってもよい。
- 事務局 公民館を最初に持ってくるのはどうか。
- 佐藤委員 ここでは核となっている小学校を最初にした方がよい。
- 佐々木委員長 小中学校と公民館を一緒に説明してもよいと思う。

- 難波委員 P34 に学校と公民館を続けて書いて、右ページに P37 の図と「スケルトンインフィル」の説明を入れるとよい。
- 佐々木委員長 P36 の図はどうか。
- 力石委員 図は再掲なので削除してもよいと思う。また、P37 の「こうした地域ネットワークにより、」という表現は、もともと民間施設となっていて違和感があったのでこのように置き換えたが、新しいワードが出てきてしまうので、よい言い回しがあればお願いしたい。
- 難波委員 「こうした官民の施設を含むコミュニティエリアにより」としてはどうか。
- 力石委員 それがよい。
- 佐々木委員長 P37 の図で中心に書かれている「地域の中心施設」は強調しすぎだと思うので、白抜きはやめて普通に書いた方がよい。  
あとは、P43 の最終段落で言いたいことがよく分からない。実行に向けて具体性がない。例えば定期的に内容を見直したり、地域住民や民間事業者を交えた協議の場を設けたりして、より実効性を高めていくといったことを書いてもよいと思った。
- 佐藤委員 このマネジメント計画の進行管理は総合計画審議会ですていくということか。
- 事務局 総合計画に合わせて行うことになる。
- 佐々木委員長 進行管理に関しては、通常であれば行政がメインとなる。ただ、今回、新たに加わったポイントとして、民間事業者や地域住民、そして大学などによるエリアマネジメントがあるので、それらを踏まえて進行管理を考えていけるとよい。
- 事務局 今後の話になるが、学校再編にあたりプロジェクトチームを立ち上げ、市民参加を交えてエリア整備を進めていく予定。定期的に評価検証の場を設けるというよりも地域の方と一緒に作りあげていくことになると思う。
- 佐々木委員長 それは個別計画の話だと思うが、このマネジメント計画の今後 10 年間でどうしていくかを考えたい。エリアマネジメントの話はやりがいがあると思う。
- 難波委員 これはマネジメント会議からの町に対する提案なので、定期的にやってほしいと書くのはよいと思う。
- 佐藤委員 行政と住民と連携しながらこの計画を実行に結びつけていってくださいというようにしてはどうか。
- 難波委員 P29 に今後の 10 年間のことが書かれていて、まさにこの進め方だと思った。さらに地域の掘り起こしをするようなことが書けるとよい。

佐々木委員長 定期的に協議の場を設けて、参加者は住民や事業者、大学など。行政はサポート役となるような。

事務局 エリアマネジメント的な考え方を持って欲しいということでしょうか。

難波委員 いろいろなことをやりたい住民がたくさんいることが分かったので、そういう人たちの声を拾っていこうということが書けるとよい。

事務局 「地区コミュニティセンター」はまさにエリアマネジメント。

佐々木委員長 町会、自治会というよりは、民間事業者などの協力を得てお金が回る仕組みで持続性を担保しようというもの。行政だけでは回っていかないの。  
あとは、P43の網掛けの上の4行の意味がよくわからない。

佐藤委員 マネジメント計画は基本的に経費を削減するための計画だと思っていたが、町をどのようにデザインしていくか、どういう使い方をしていくか、それが町の魅力につながるの、それをかなり反映させたマネジメント計画というのが今回の特徴なのかなと思った。コミュニティを無視して、総合管理計画に従ってつくった建物は住民の理解を得られず運営が難しい。宮代の計画は地域のコミュニティと一体的に進めていくことが味噌だと思っている。

佐々木委員長 主語が「公共施設の再編は」だから分かりづらかったのかもしれない。「公共施設マネジメント計画は」といったようにもう少しやわからくして、今回の特徴を踏まえた言い回しにしてほしい。

難波委員 今、話題にでている4行と網掛けの間に「町民ワークショップを通じて、多世代の方々が世代間交流や開かれた場での活動など、いろいろな活動ができる場を求めていることが明らかになった。」と入れるのはどうか。これは民間や大学とのつながりの面でも重要なこと。町はこう思っていて、それに対してマネジメント会議ではこういった提言をしているけれども、実際には町民の人も欲しているの、それをちゃんと拾って実行してくださいというのが最後の締めとしてはよいと思う。

佐々木委員長 かつての計画はトップダウンだったが、今回の計画ではいろいろな人の声を聞いてプレーヤーがたくさんいることが分かり、そういった人たちがいかに活かしていくかを問い直すきっかけになったので、これまで足りなかった部分を補いつつ、実行に向けてしっかりやっていこうという提言にしたい。  
その他、事例があると分かりやすくよいと思う。

難波委員 福島県国見町では、倉庫をリノベーションして、イタリアンレストランとシェアオフィスが入っている。まさに公民館とレストランが併設していて今回の計画のイメージに近いよい事例だと思った。

- 事務局 ワークショップの意見集の前後に入れるか。
- 難波委員 長野県小布施町の図書館は、いろいろな店舗の空きスペースに本を置いてという感じで、これもイメージに近いと思った。
- 佐々木委員長 あとは事例でいうとアイデアストアというのがイギリスにある。利用率が低い図書館に色々な機能を複合したところ利用者がかなり増えたというもの。それを大分県の図書館が参考にして日本でも影響を与えているようだ。本を読む崇高な場所というよりも知識や技術を持ち寄って庶民的な空間にというような考え。
- 佐藤委員 事例は興味深いところがあるが、宮代でつくるものなので、外にあまり引っ張られないようにしたいと思う。入れるとすれば資料のところコラム的にしてもよい。
- 佐々木委員長 コラムでよいと思う。
- 難波委員 地域コーディネーターの事例もあった。
- 佐藤委員 学校に地域コーディネーターが入ってうまく使っているところもある。
- カ石委員 そこがハブ拠点となっている。
- 佐藤委員 学校を建て替えるにしてもコミュニティと一緒にないと交付金が出ないといったことがある。
- 佐々木委員長 可能であればコラム的に事例を追加してほしい。
- 事務局 続いて委員長の修正等に対する意見交換をお願いしたい。大きなところでは、構成ページの入れ替えを行った。細かいところでは、「5 (3) 個別更新施設の方針」は重要事項となるため、「6 個別更新施設の更新」と大見出しにした。
- 佐々木委員長 P18 の「建物施設」は全ての施設でないということだが、細かい施設について触れなくてよいか。
- 事務局 小屋のようなものを除いた全ての建物施設ではある。
- 佐々木委員長 インフラを除いた建物としてもよいのではないか。一通り入れていると。たくさんある中から 22 施設を選んだと誤解されてしまうかもしれない。
- カ石委員 全ての建物施設としてよいのではないか。その前のページにインフラと広域施設は除くとなっているので。

- 事務局 学童など仮設でつくっているものは含めていない。建て替える予定がないので。
- 佐々木委員長 全てでないのであれば脚注でうまく入れていく。付属施設は本体に含むというように。
- 事務局 続いて P4 に笹子トンネルや 3.11 の話を追記したがどうか。
- 佐々木委員長 場所としては 2 章の「第 1 期公共施設マネジメント計画のふりかえり」のところよりも 3 章の「公共施設を取り巻く現状」の最初に追記した方がよい。また、全体的に国のことなのか町のことなのか、主語を明らかにした方がよい。あとは第 1 期のときに考えた 10 年、50 年の視点の話をどこにするか。新たに見出しを入れて、説明してもよい。(1) 施設の老朽化とニーズの変化 (2) 10 年、50 年の視点 (3) 具体的な考え方というように。
- 事務局 続いて、P12 のグラフはどうか。
- 佐々木委員長 2020 年の人口等を追記してもらったが、他の年も含めて人口と高齢化率を入れてほしい。
- 難波委員 白黒で印刷しても区別がつくようにした方がよい。
- 事務局 続いて、P16 の国や県の上位計画についてはどうか。
- 佐々木委員長 総合計画は町の計画だと分かるが、総合管理計画は国、県、町のどこが主導なのか分かりづらいので説明があった方がよい。
- 難波委員 P4 の本文で説明してもよいと思う。国に先駆けてマネジメント計画をつくり問題提起をしてきたが、その後、国から総合管理計画をつくるよう要請があったという経緯も書けるとよい。
- 力石委員 分かりやすさを考えると P4 に入れた方がよい。
- 佐々木委員長 P16 の図の脚注は箇条書きではなく、図の中に入れ込んだ方がよい。また、実行計画という表記が出てくるので、その説明もあるとよい。
- 難波委員 並び順だが総合計画が上の方がよい。あとは、マネジメント計画と総合管理計画の違いが分からない人がいると思う。
- 事務局 P17 の脚注の総合管理計画の説明をここへ持ってくる。  
続いて、5 章全般になるが、「場」「空間」「建物」「機能」の言葉の使い分けの方向性についてご意見をいただきたい。
- 佐々木委員長 ソフトは「機能」で、それがハードと組み合わせさせたものが「場」になると思った。「場(施設)」と書いてもよい。



- 難波委員 「場所」という言葉も出てくるがどうするか。
- 佐々木委員長 大きな流れとしては、脱ハード、脱建物というのを意識して書くと第2期らしくなると思う。それを混同して考えてしまうと第1期に戻ってしまう。また、「必要があります」という表現も根拠があるもの以外はやわらかい表現に変えた方がよい。
- 事務局 事務局で整理して、委員長に確認してもらおう。
- 佐々木委員長 P24について、持続性の話は重要なテーマだと思っている。「補助金に頼らない」、「持続性は確保しつつ」といったようなキーワードを入れていけるとよい。
- 難波委員 ここに書かれている内容は、最後の「実行に向けて」に通じる内容だと思うので、P20の5章の冒頭に出してもよいと思う。
- 佐々木委員長 もしくは、7章の実行計画で具体的に書いていくのもよい。
- 事務局 P20の(1)示すもののところで「持続性を担保しつつ」という言葉を入れて、P24に掲載されているものは残し、P42の「実行に向けて」で具体的に説明するとしてよいか。
- 難波委員 P20で、第1期では施設が中心だったが、第2期では機能に注目して、建物やお金の話ばかりしていても受け入れられないから地域のビジョンが必要だとして、(2)以降の具体に続いていくと分かりやすい。
- 事務局 持続的に続けていくためにはビジョンを示して、町民が賛同し、様々な主体が連携しながらマネジメントしていくことが必要だということを入れる。  
続いて、P25の「エリアマネジメント」についてはどうか。宮代らしいものがなく、国などで一般的に使われているものになる。
- 佐藤委員 難しい説明だとそこに引っかかってしまうので、よいものがなければ用語の解説は書かれているので、無理に示さなくてもよいと思う。
- 力石委員 協議会をつくるといったように複雑にしない方がよい。
- 事務局 行政は組織からつくろうとする傾向がある。学校のコミュニティ組織もそうである。
- 佐々木委員長 国土交通省土地・水資源局が作成したエリアマネジメントのパンフレットを参考に宮代バージョンにできるとよい。秋田県や福岡県などの事例もいくつか出ているので事例として載せてもよい。
- 事務局 その中で宮代向けのものであれば入れる。  
P29の図についてはどうか。

佐々木委員長 3つのエリアがあまりに整然としている気はする。

佐藤委員 P19の図のようにそれぞれのエリアに重なりがあるとつながりも表現できる。

事務局 それぞれのエリアの外側の円をひとつ増やすなどして重ねていく。

力石委員 P29とP19の図のイメージをなるべく近づけられるとよい。

難波委員 P19は重なりが大きいものと小さいものがある。

事務局 P29の3つのエリアは重なる。また、P19のエリアは、円の大小や形を楕円にするなどの調整をする。  
続いて、P33はどうか。

佐々木委員長 進修館と笠原小の話が反復している。

事務局 P30にも出ている。

佐々木委員長 ここだけ見る人にとってはよいが、そういう視点で見えていってしつこいと感じたら削った方がよい。

難波委員 第1期の話のところにも出ている。P33の既存施設の有効活用では進修館と笠原小に触れなくてもよいのではないか。この2施設だけではないので。

事務局 P33 既存施設の有効活用の下の3行を削除する。  
続いて、P34はどうか。

難波委員 前は「公共施設の建て替え時期と建て替え費用」のロードマップがあった。

佐々木委員長 全体像が分かるように対応年数の一覧表があるとよい。

事務局 前は冒頭に個別更新施設の一覧を掲載していたが、今回は削除している。復活させるか。

佐々木委員長 簡単でいいので一覧表はあった方がよい。

事務局 P14の「年度別・主な更新施設の一覧」の再掲でよいか。

難波委員 この表記だと更新する前提になっているので、「年度別・対応年数到来施設」としてもよい。

- 佐々木委員長 個別更新施設の説明は、将来のことなので書きづらいと思う。無理やりこうすべきだとするのではなく、考慮すべき検討事項として箇条書きやキーワードで書いていってもよい。
- 事務局 具体があった方が行政としては動きやすい。
- 佐々木委員長 全体像が見えるような一覧表を加えてもらえれば、書き方は事務局に任せる。あとは新しい村は重要だと思うが触れないのか。
- 事務局 新しい村は昨年からコンサルが入っていて魅力アップのための事業を行っている。
- 佐々木委員長 現段階の状況として、それにも触れておいた方がよいのではないか。
- 難波委員 進修館と笠原小と同じように、P30の図の下に脚注で入れてもよいのではないか。
- 佐々木委員長 指定管理と直営の話をどこかに追記してもよいのではないか。経費削減という意味では効果があると思うが、計画の範囲外ということでよいか。
- 難波委員 資料館の説明のあとに、「また、新しい村は・・・」と入れていってもよい。
- 佐藤委員 郷土資料館の説明と同じくらい簡潔に書ければよい。検討を進めているといった具合に。
- 佐々木委員長 あとは、どこかに指定管理の期間を長くするという話があったと思うが。
- 事務局 ぐるるのところに書いている。
- 佐々木委員長 話がシフトしてしまうが、方針のところに指定管理の話を追加した方がよいのではないか。
- 事務局 P32の「④収益性を考えた公共施設の運営」で指定管理については少し触れている。
- 佐々木委員長 そこに現在指定管理をしている施設の一覧表を追加できるとよい。
- 難波委員 いずれにしてもこのページの脚注の表現をやわらかくと思うので、そこに宮代の事例としてエスコや指定管理を入れてもよい。
- 事務局 宮代は指定管理が進んでいると思うので、民間が運営していることに対して抵抗がある町民は少ないと思う。
- 佐々木委員長 施設の民間貸出についてはどうか。

- 事務局 いきがい活動センターや勤労者体育館がある。
- 佐藤委員 P9、P10 に第 1 期の成果として載っている。
- 事務局 続いて、P41 の図書館についてはどうか。
- 佐々木委員長 図書館に求める機能として、単に本を貸す施設ではなく、共有の場であったり、ホールでの音楽鑑賞であったりと、他の機能があるということをつかりやすく書いた方がよい。そういうことをイメージできるような書き方がよい。
- 難波委員 地域の課題に向き合う場になっている。
- 事務局 続いて、資料についてはどうか。
- 佐々木委員長 視察のときの資料などは出せないのか。視察先の行程表とは言わないが、視察先の一覧などは最低限必要だと思う。初めて見る人のためにも視察時の資料が付くとなおよい。
- 事務局 視察先の一覧を写真付きで載せる。それにレポートを入れるか。
- 難波委員 細かすぎると読まなくなると思う。
- 佐々木委員長 視察先とその写真を巻末に載せることとする。
- 事務局 その他はどうか。
- 難波委員 P20 の「第 2 期計画で示すもの」について、第 1 期と第 2 期の違いを明確に出したほうがよい。第 1 期は学校というハコモノに他の施設の機能を集約していくとしていたが、第 2 期は必要な機能に目を向けて、ハコモノ自体は官だけではなく民でもよく、場合によっては機能が提供できれば、ハコモノがなくてもよいとしている。それらの違いをもう少し明確に書けるとよい。P37 のハブの説明にあるようなエリア全体で補完していくこと、より身近な生活を支えることなども含めていく。
- 佐々木委員長 対比する表があると分かりやすい。
- 事務局 その他にあるか。
- 佐藤委員 細かい言い回しは委員長と事務局に任せる。
- 佐々木委員長 前回からページの入れ替えがあったので違和感がないかの確認もお願いしたい。
- 力石委員 計画の全体的な流れは前回よりも今回の方がよい。

- 佐藤委員 確認となるが、P34 の今後 10 年の具体的な取り組みに新しい村の説明を入れるのか。
- 佐々木委員長 新しい村の現状を入れる。
- 力石委員 P30 の脚注に入れるという話ではなかったか。
- 事務局 または P34 ページに一覧表を入れて、それぞれの施設の主な方針の中で、新しい村については検討中と入れる。
- 佐藤委員 あとは、ここに載っていない施設があるのが気になる。対応年数到来時期が書かれているが、10 年を超える施設や 10 年以内に到来するのに書かれていない施設があり、見出しとの整合性を考えると対応年数到来時期は削除してしまってもよいと思う。
- 難波委員 郷土資料館は、ハード面としての対応年数到来時期はまだ先だけれどもソフト面で考えていくとしている。
- 佐藤委員 対応年数に関わらず運営を継続していくとしているので、対応年数があることによって建て替えの話になってしまう。まして、小中学校だと学校ごとに個別施設計画をつくってやっていくことになる。それぞれ今後 10 年の方針が分かればよいと思う。

以上